

CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
大光印刷亀岡新工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q1 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1-3 室内環境</b>								<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>								<b>3.4</b>
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
1.2 遮音		外部アルミ製建具遮音性能等級:T-2製品を採用						
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								<b>3.0</b>
2.1 室温制御								
1 室温								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
<b>3 光・視環境</b>								<b>3.0</b>
3.1 屋光利用								
1 屋光率								
2 方位別開口								
3 屋光利用設備								
3.2 グレア対策								
2 屋光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気環境</b>								<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		建築基準法規定以外の仕上材等にもF☆☆☆☆を全面的に採用						
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 快適性・省エネ性能</b>								<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>								<b>3.2</b>
1.1 機能性・使いやすさ		1人当たり執務(作業)スペース:25m <sup>2</sup> >12m <sup>2</sup>						
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性		天井高さ(min):2.8m>2.7m						
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理		高防汚性・清掃容易仕上、外装水切設置、防錆金属、段差なし						
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
<b>2 耐用性・信頼性</b>								<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震								
1 耐震性								
2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数		躯体(RC)評価方法基準:等級2に該当						
1 躯体材料の耐用年数								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
6 主要設備機器の更新必要間隔								

2.4 信頼性			2.2	0.19		-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			4.1	0.29		-	4.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31		-	
1	階高のゆとり	階高:4.2m>3.9m	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率[L/A]:0.159	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		主たる執務(作業)スペース:20000N/m <sup>2</sup> 、倉庫:5900N/m <sup>2</sup>	5.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 敷室外環境(敷地内)			0.40	0.40		-	3.6
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観誘導基準配慮、敷地外周緑化、再生材ルーバー採用	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			0.40	0.40		-	3.6
ERR 総合評価			0.40	0.40		-	4.0
1 建物の熱負荷抑制						-	
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備設置	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		LED照明器具の採用	5.0	0.43		-	5.0
集住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=39.6%	5.0			-	
集住宅の評価						-	
4 効率的運用			3.0	0.29		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアリティ			0.30	0.30		-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	節水コマ+省水型衛生器具の採用	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.63		-	3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントを基礎・基礎梁・1階床スラブに採用した	5.0	0.21		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	外装床タイル、屋根防水断熱材	4.0	0.21		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	VOC非含有材料を4つ以上採用	5.0	0.32		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			0.30	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1	大気汚染防止	オール電化のため、燃焼機器は無し	5.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	公共交通機関利用・自転車利用(必要駐輪場整備)の促進	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50		-	
2	振動		3.0	0.50		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			2.3	0.40		-	
1	風害の抑制		2.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.3	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ガイドラインの外に漏れる光:1P、広告物照明:2P	4.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	南・西面:窓設置なし、東面:窓を最小限に留めグレア非発生	5.0	0.30		-	